

## 社長メッセージ

より多くのお客様に信頼され、  
そして最も選ばれる  
資産運用会社となるべく、  
努力を続けてまいります。

代表取締役社長

小松 幹太

Mikita Komatsu



当社の社会的使命は、資産運用業を通じて、人々の豊かな暮らしと持続可能な社会の実現に貢献することです。お客様の安定的な資産形成を実現するためには、お客様のニーズに合致した商品をタイムリーに開発提供することはもちろん、お客様からお預かりした資産を守り殖やすため、資産運用のプロフェッショナルとしての役割を果たす必要があります。

当社では、運用の投資判断を行ううえで重要となる企業価値の評価において、従来の財務データの分析に加え、サステナビリティを裏づける様々なESG要素を勘案した新しい評価プロセスの構築を行っています。外部の運用機関の助言を活用する場合も、その運用機関の運用哲学や運用フローに、ESGやサステナビリティの観点が組み込まれており、当社と同じ価値観を持って投資判断が行われているかを重要視しています。

こうした取り組みを行ううえで必要なのは、投資先企業のESGを中心とする非財務情報や無形資産の評価を織り込んだ本来あるべき姿を把握し、企業の持つポテンシャル、可能性を的確に評価することです。当社は2022年7月にドラッカー研究所との共同研究を発表しましたが、知的財産等も含めた様々な情報を企業価値評価に正しく組み込むことが、我々資産運用会社に求められていると考えています。



All Challenges  
for  
All Investors

また、お客様に長期的に良質な商品を提供し続けるためには、当社自身がサステナブルな企業である必要があります。当社は、2022年9月に「サステナビリティ方針」を策定し、当社が行うあらゆる取り組みについてサステナビリティを意識することを宣言しました。優先すべき重要事項(マテリアリティ)として8つの重点分野を特定しましたが、その中でも、事業活動においては「フィデューシャリー・デューティの徹底」、事業基盤においては「ステークホルダーからの信頼獲得」がその根幹です。この根幹が揺るがない経営を行わないと、当社自身が資産運用会社としての責務を果たせないと考えています。投資先企業にサステナビリティを意識した経営を求め、資本市場の維持発展に貢献する役割を果たし続けるためにも、当社自身が率先してサステナビリティ経営に取り組んでいきます。

当社は「All Challenges for All Investors」のビジョンのもと、より多くのお客様に信頼され、そして最も選ばれる資産運用会社となるべく、努力を続けてまいります。社員一人ひとりがESGやサステナビリティについてより理解を深め、お客様の最善の利益に適った商品を開発・提供し、責任を持って運用することにより、持続的な社会の維持・向上に貢献したいと考えています。

代表取締役社長

小松 幹太